



ボタニカルニュース ～牧野公園情報～

◆秋の花盛りシーズン到来♪

散策にぴったりの過ぎやすい季節になりました。公園は年に数回おとずれる、特に花数が多く賑やかなる時期♪黄や紫系の色が多く、花の形も様々。10月中旬頃からはアサギマダラをはじめ、たくさんの種類の蝶などが花に引き寄せられてやってきます。

秋のお花見にぜひお越し下さい☆

〈幸せのブルービー現る!〉
～ナミルリモンハナバチ～
8～9月に公園内で飛んでいる姿を目撃しました。通称ブルービーと呼ばれ、レア度から、見ると幸せになれると言われています。シソ科の花やオミナエシなどが好きなようです。来年注目してみてください♪



◇10月に見頃のお花♪

←ジョウロウホトトギス (上臈杜鵑草)
ユリ科ホトトギス属。石灰岩地に見られる高岡郡固有の植物。和名は牧野博士命名。花：9月下旬～10月中旬頃



リンドウ(竜胆)→
リンドウ科リンドウ属。稀に白花があり、白花は牧野博士命名。花：10～11月頃

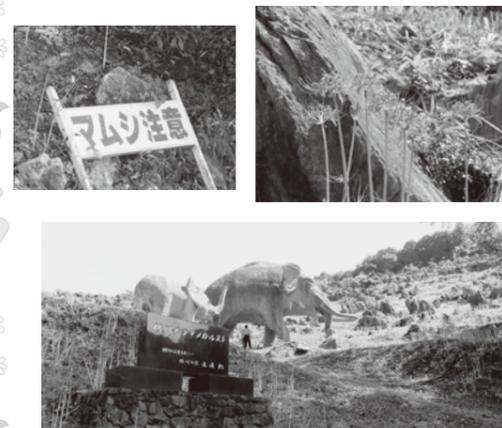


←タマムラサキ(玉紫)
ヒガンバナ科ネギ属。牧野博士命名。花：10月中旬～11月中旬頃

サワフジバカマ(藤袴)→
キク科ヒヨドリバナ属。フジバカマとサワヒヨドリの交雑種。旅する蝶、アサギマダラがよく訪れます。花：10～11月上旬頃



まちまるごと植物園 ～まちの植物情報～



◆「ナウマンカルスト」
町の中にある植物スポットを紹介しようと思います☆
佐川駅から徒歩20分程度の場所にあるナウマンカルストでは、9月中旬くらいから一面ヒガンバナでいっぱいになります♪ナウマン象と「映え写真」撮ってみてはいかがでしょう？
また、散策路が上がっていくと、10月中旬にはシユウメイギク、早春にはハルリンドウが咲きそうです。ぜひ散策してみてください♪
※マムシがいることがあります!!
草刈りが実施されていない時期は特別にお気を付けてください。

青山文庫だより

新しい田中光頭像

特別展「志士最後の生き証人・田中光頭」がはじまりました。この展示は、過去に開催した特別展の内容を基に、田中光頭の人生を俯瞰しようとしたものですが、人の人生は様々な上、見る角度や視点によって見えてくる様も異なります。

今回は、「志士としての田中光頭」を一つの視点とし、明治維新をどのように迎えた、新しい時代の中、どのように志士たちと関わっていったのかに焦点を絞りました。

その中で見えてきた光頭像は、新しい時代を切り開き、新しい国家の土台を築いた「志士」そのものでした。

佐川鎮(深尾領)に生まれた事。土佐勤王党に加盟した事。脱藩した事。中岡慎太郎の右腕として成長し、その過程で諸国の志士たちとの信頼関係が築けた事。新政府に仕官できた事。早い段階で国際的な視野が持っていた事。近代国家が必要とする実務能力を持っていた事。光頭の人生を振り返ると、このような様々な点が光頭を創り上げ、そして、そのほとんどが光頭の努力に基づいて成されています。

坂本龍馬や中岡慎太郎が有名過ぎて、土佐の志士としてはあまり認識されておらず、高杉晋作や西郷隆盛という全国規模で著名な志士たちにも列する事がない光頭ですが、彼らと同時代を生き、彼らと手を取り合って活動し、明治維新を迎えました。そして、新しく誕生した国家が、近代国家として世界で認められるよう、万全な土台を築き上げていく過程で、その一部を担ったのも光頭です。「土佐藩の出身で、長州藩に脱藩した志士」という点のみで把握されがちのため、土佐閥や長州閥のコンネで出世した人物と捉えられがちですが、光頭自身の功績により順番に出世をしていったのです。

そして、97歳という長命であったがゆえに「志士最後の生き証人」と称されたのではなく、明治維新の歴史を後世に残そうとした光頭の活動ゆえに、そう称されたのです。

新しく見えてきた光頭像を、ぜひみなさんにご覧いただけたいと思います。
(青山文庫 藤田有紀)

展示案内

「志士最後の生き証人・田中光頭」
9月12日(土)～12月13日(日)

文芸

川柳

早場米 実り豊かな コンバイン
魚より 小判がすきな 招き猫
文化鍋 焦がして妻に 叱られる

切り抜きを 嵌めるが如き 出会いかな
東 聖 (ペンネーム)

法師蟬 鳴き止み里の 夕まぐれ
味元 佐知子

天守閣 南風きたる 昼寝かな
東 聖 (ペンネーム)

短歌
つらつらと 極めもせず 生きてこし
世に越えがたき 壁見たるかな
東 聖 (ペンネーム)

土佐にては仏とんぼとふおはぐろトンボ
紹や紗の喪服まといるかに
ジャンボたにしに食み尽くされし水田に
青鷺の子ら啄みてをり

はらはらと風に舞い散る街路樹の
梢にひかる月の雫が
闇の中光とぼして飛ぶホタル
短かき命我と重ねて
福寿草 (ペンネーム)

応募先…佐川町教育委員会社会教育係
〒789-1201 佐川町甲356-2
電話 22-1110 FAX 22-0070

※応募多数により抽選しました。

川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか？

※12月号への掲載を希望される方は11月1日(日)まで
投稿方法：氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、ファックスにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。